

一般質問19人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、ホームページまたは議会事務局にて閲覧できます。
なお、12月定例会会議録は3月中旬から閲覧可能です。

深谷政男

問 未来につなぐ農業会議及び農作物ブランド化促進研究会について説明願います。

答 農業の振興は地域の振興を図る上で大きな柱の一つです。未来につなぐ農業会議は、本市農業における主要な施策及び基本目標を示す「白河食と農の基本計画」の策定を指して、9月末に組織を立ち上げました。また、白河市の農産物をより魅力あるものにしていくため、ブランド化を推進する機関として同促進研究会を6月に立上げ、地域ブランド認証制度やブランド品目の選定について調査・研究しています。

問 第4期介護保険事業計画の見直しの方向性や内容について伺います。

答 要支援・要介護認定者の増加傾向を踏まえ、利用者の増加要因の整理・分析を進めます。また、介護報酬の平均

3%引き上げなどにより、保険料は上昇の方向性にあります。除料は上昇の方向性にありま

問 市道八竜神形見坂線の新年度以降の整備計画の見通しをお聞かせください。

答 用地について一部を除き地権者の協力を得ているので、事業の推進に努めます。

深谷幸次郎

問 平成21年度当初予算編成の基本方針について伺いたい。

答 景気後退による個人市民税や法人市民税の減収、評価がえによる固定資産税の減収が予測されることから、一般財源の確保はこれまでにも増して厳しい状況が見込まれる中で、産業の振興や中心市街地の活性化、子育て支援、歴史・文化の継承・保存、教育施設の充実など将来の基礎づくりにつながる事業に取り組みむとともに、単年度のみならず、数年を見越した予算編成を進めてまいります。

「評定者」と「評定を受ける者」が共通の認識を持ち、業務の中で能力開発を図り、評定を受ける職員に納得が得られるよう努めます。

大竹功一

問 仮に国の承認を得た場合、中心市街地活性化基本計画に基づく市の負担分は5年間の事業総額で、どの程度の予算を必要と考えているのか。

答 計画案を策定中のため、予算総額について算定が終了しておりません。先日、中間報告を議会に行いましたが国との協議が終了後、来年早々には、議員及び市民の方に予算的な数字を含め、最終的な計画案を示す予定です。

問 市民会館・中央公民館の建設をどう考えているのか。

答 先日、文化団体から建設の要望をいただきましたが、現在庁舎内で、協議を進めております。今後は庁舎内での案をまとめ、市民の意見及び財政状況を勘案して最終的な案を示したいと思っております。

問 市内の谷津田川周辺の清掃を各自治会がボランティアで行っているが、生草ごみについて回収が行われなくなっ

問 白河管内の雇用動向及び雇用対策についてどのように対処されているのか。

答 景気後退を背景とした企業のリストラに伴い、失業者が多くなっており、雇用動向は非常に低い水準で推移している。市内の多くの事業所が採算割れや資金繰りの悪化が想定されることから、融資限度額の引き上げや、融資期間の延長、信用保証料の補助のかさ上げなど、中小企業向け融資制度を12月1日より実施するなどの雇用の対策に取り組んでいます。また、国・県の新たな緊急雇用対策の推移を見ながら対応できる措置を講じてまいります。

須藤博之

問 市長の中心市街地活性化に対する基本的な考えと熱い思いについて伺います。

答 今回の計画は、まちを再生する大きなチャンスであると捉え、中心市街地活性化協議会を立ち上げ濃密な議論を交わしながら策定に取り組んできました。具体的な数値目標を設定し、実施年度や予算の裏付けをもって市が実施する事業を中心に据えることで、

負担は、配慮すべき。

問 新たな負担は、各企業の判断によります。過去に例のない景気後退の中、厳しいものがあるかと認識しています。

答 駅前東線ほか3路線を調査したところ、樹木の根による盛り上がりが見られた箇所は約50箇所あり、早急に対応が必要な4箇所について、修繕を実施。根の成長方向を矯正し、歩道の盛り上がり防止する工法についても、本年度2箇所試験施工することとしております。残りについては、引き続き歩行者にやさしく歩きやすい路面状況の維持に努めてまいります。

藤田久男

問 救急医療体制について救急出動と病院の対応について、管内における救急出動受け入れ病院の状況はどうか。

答 今年1月1日から11月30日までの出動回数は1584回。受け入れ状況は3回以上となったケースが87件で、受



問 本市経済界に疲弊感がある。苦しさを、負担感を言葉に出せないでいる。会議所建設に限らず、新たな企業等の

柳路幸雄

問 第一次総合計画の実施計画及び各部の運営目標について

答 「実施計画」は重点戦略プランを推進するため、施策体系別に整理するものです。「各部の運営目標」は、施策・事業、課題を明確にし、部が取り組む指針です。実施計画と運営目標との関係が明確になるよう検討し、公表します。

問 業務量把握調査について

答 定員管理の適正化を図るために「業務の従事時間数」を算出し、数値化することです。毎年実施し、前年度と比較検討を加え、精度の高いものにします。

問 勤務評定について

答 課長補佐職以上に実施します。評定項目は「管理監督的立場の職員」に求める項目を「評定要素」とし、評定要素の重要度により配点を決定した。評定者教育は「評定要素の着眼点」「評定方法」「評定者の心構え」「評定者が陥りやすい評定エラー」の説明を行い、評定者間の評定レベルの均一化に努めた。評定を受ける職員に目的を明示し、



白河市中心市街地活性化基本計画の事業のうち、白河駅舎活用事業

入れ先は管内病院が39件、管外病院が48件となっています。
問 今冬の道路の除雪対応について

答 雪の降る時期が来たが、昨年と同様の対応はできるのか。
答 本庁及び各庁舎で契約し、除雪体制を確立し、市民生活に支障がないよう万全な体制で除雪に努めます。

問 下水道料金値上げについて

現在の社会情勢は大変なもので、値上げについて今後の対応は何もないのか。赤字の理由は何なのか。
答 維持管理費は使用料収入で賄うことになっている。公平性を保つためにも加入を促進する必要があります。コスト削減に取り組み、今後は経営的な感覚を持ち経営の健全化に取り組めます。

問 地元企業への資金繰り支援

問 アメリカに端を発した金融危機は、我が国の実体経済に大きな影響を及ぼし、景気後退が急速に進んでいます。地元企業の景況感も急速に悪化し、深刻な状況になっていると聞いています。金融機関

高橋光雄

の融資状況と地元企業の資金繰りを支援する国・県・市の対策及びBIS規制の影響はどうなっていますか。
答 金融機関の体力は付いており、前回の不況時と比べ貸付けに当たっては、貸し渋りや貸しはがしは出ないとの印象を持っています。国は、保証・融資枠を30兆円規模に拡大し、県も国とは別枠で経営安定特別資金を創設しました。市としても経営合理化資金と無担保無保証人融資限度額をそれぞれ2000万円、1000万円に引き上げました。また、金融機関の融資を円滑にするため、国・県資金は100%保証協会の保証が受けられます。したがって、金融機関のリスクは極めて低く、BIS規制による自己資本比率に影響を与えることはほとんどないものと思えます。

問 白河厚生総合病院の跡地対策の方向性はどのように進んでいますか。

答 ヨークベニマルの進出については、可能な限り支援してまいります。

問 中央老人福祉センターの

入浴施設利用者は平成16年度と比べ、平成18年度は約2万5000人も減少しているが、その対策をどのように考えていますか。

答 それは有料化が原因と思われるのですが、社会福祉協議会と協議を進め、利用者の声に耳を傾け、積極的な改善を図ってまいりたいです。

問 農業用に使用し排水施設に流れ込まない育苗の使用水量に対して、市が減額基準を作成しその対応を図ることが住民本位の行政だと思いますが、育苗に使用する水量の把握が困難であるので、減額基準の作成は困難です。

問 私立と公立幼稚園の預かり保育料の格差是正を図るべきと考えますが。

答 私立幼稚園協議会の要望の内容を踏まえ、市長と協議してまいります。

石名 国光

問 来年予定されている、介護保険事業計画の見直しでの保険料は、厚生労働省の指導や給付費準備基金等を充てれば、現在の保険料で運営できると考えるが、市の考えは。

答 介護給付費の自然増、介

護報酬の引き上げ、被保険者の負担割合変更などにより保険料の上昇を見込まざるを得ない。被保険者に大幅な負担増にならないよう、保険料を設定する上では、事業運営に支障のない範囲で、基金の活用を含め設定します。

問 介護保険制度は、平成18年に制度改正したことで、利用者の負担増や利用サービスが制限されたとの声が多い。利用者への影響とニーズについて伺います。

答 制度改正により、今まで利用できたサービスが利用できなくなったり、自己負担増により利用しないケースが見受けられます。その一方、生活行為は自分で行うことで、生活機能が改善されたケースや、介護への家族の関与が増えたケースもあります。生活介助や通院等乗降介助サービスへのニーズが多くあります。

戸倉 耕一

問 合併4年目を迎え、職員給与の格差是正の現況は？

答 平成18年7月の国の給与体系見直しに伴って生ずる影響を押さえるためにも早期の格差是正が必要であると判断

し、平成19年1月1日付けで、すべての調整を行い、格差是正をしたところであります。

問 国道294号外面交差点信号機の設置について

答 本交差点の安全確保には、信号機の設置は有効な手段であり、その設置と併せて右折左折レーンの設置も含め、白河警察署など関係機関との協議を進めてまいります。

問 大信地域小学校の、今後のあり方（運営）について

答 学級編制の基準によると、平成21年度に、信夫第二小学校で複式学級の発生が見込まれております。教育委員会としては、複式学級が解消できないよう、県教育委員会へ加配教員の配置を要望し、不都合が生じないよう配慮していきたいと考えております。（あくまでも、一学年一学級を強く要望し、質問を終わりました。）

吾妻 一郎

問 表郷地区図書館及び多目的ホールを整備することにより、新市建設計画にもある表郷地域の複合文化施設建設が白紙になってしまったのか伺います。

問 ⑥公共施設の用途変更等の案が出た場合、あらかじめ市民へ公表すべきと思うが、どうか。

答 市民の皆様を示します。

問 ⑦幼稚園と保育園の嘱託職員の雇用のあり方について、何か対策はとっているのか。

答 正規職員と嘱託職員の配置割合の平準化や嘱託職員の通算雇用期間も協議します。

問 ⑧学校用務員について

答 民間委託も検討します。

佐川 京子

問 耕作放棄地の活用問題、農地の復元は大変困難ですが、利活用に向けて取り組みなければなりません。農業の振興や花いっぱいにして観光への活用や二地域居住者へ農地付き住居の提供なども考えられるが、どうか。

答 耕作放棄地対策協議会を新設し、利活用を検討します。

問 県道白河石川線の整備を強力に進めてほしいです。

答 東蕪内から借宿細倉間の歩道計画は次年度工事着手の予定で、借宿地内やその他地域の危険箇所解消や歩道設置を県に強く要望します。

問 本市の学力の現状と重点



県道白河石川線（東蕪内地内）

大花 務

問 国道4号の現状を踏まえ、休憩施設の必要性について改めて関係機関と協議を進めてまいりたいと考えております。



図書館整備・表郷庁舎2階北側フロア

問 図書館及び多目的ホール整備と複合文化施設建設について、図書館整備は表郷地域協議会及び表郷庁舎利活用推進委員会などの意見を踏まえ、庁舎2階北側フロアを図書館として整備することとし、現在、改修のための用途変更確認申請書を県に提出しました。また、図書館整備と併せて3階の旧議場を表郷地域の文化団体等がミニコンサート等の各種活動の練習や発表会場として多目的に利用できるような多機能ホールに改修するための予算も今議会に計上します。

答 図書館及び多目的ホール整備と複合文化施設建設について、図書館整備は表郷地域協議会及び表郷庁舎利活用推進委員会などの意見を踏まえ、庁舎2階北側フロアを図書館として整備することとし、現在、改修のための用途変更確認申請書を県に提出しました。また、図書館整備と併せて3階の旧議場を表郷地域の文化団体等がミニコンサート等の各種活動の練習や発表会場として多目的に利用できるような多機能ホールに改修するための予算も今議会に計上します。

筒井 孝充

問 福島空港の今後の県の対策に伴う白河市の対応及び利用促進また空港利用者に対する白河市のPRについて

答 県内の市町村等で組織する福島空港利用促進協議会と連携し、県民空港としての有効活用に努めてまいります。

問 図書館建設に伴い、駐車場の確保並びに城山公園利用者の駐車場として白河駅北側市有地を整備してほしい。

答 財政状況等も勘案しながら、より利用しやすい駐車場の整備について検討します。

問 白河パーガー「三重槽」について

答 5月までは月400個を販売しましたが、6月以降は150個と減少しています。味はよいが、値段が高い等の声があります。インターネット等の販売は考えていません。

問 白二小建設について

答 平成23年度中に全児童を1期工事で完成した校舎に移動させます。近隣住民への説明会は、校舎配置の概要がまとまり次第に促進協議会と協議をしながら開催し、要望等は内容を検討し対応します。

水野谷 正則

問 ①地方分権について

答 本来の姿とかけ離れた形で収束し、国の抵抗の厳しさに容易ならざるものを感じます。

問 ②区長と職員の役割について

答 職員は政策形成能力と実行力、区長は市長に対し地域住民の声を迅速に伝えることが必要です。

問 ③まちづくりについて

答 地域協議会をはじめ、産業、文化、教育団体や住民の声を拝聴しながら進めます。

問 ④通学路整備の基本的考え方について

答 道路関係予算を確保し、通学路整備を優先に進めます。

問 ⑤公共施設活用検討委員会の外部評価の導入について

答 先進事例なども参考に、導入を図ってまいります。

問 市営住宅全戸に公費負担の「火災警報器の設置」を要望

答 消防法による義務のため本市営住宅に平成21年から22年度までに設置します。

問 有料ごみ袋の価格低減のため、広告掲載を提案する

答 ごみ袋、ごみ収集車、ごみカレンダーへの広告掲載を組合に要請してまいります。

暮らしを守るための諸課題

問 子育て支援として、どの市民アンケートでも「経済的負担軽減」の要望が強いことがわかります。子どもの医療費無料（助成）制度は、別表のとおり、県の制度（就学前まで）を超え県内過半数の市町村で対象年齢引き上げが実施されています。市長のやる気があればできる課題だと思いますが、実施するかどうか具体的に検討されていますか。

答 市の財政は大変厳しい状況にあります。子育て支援

別表・子どもの医療費助成制度
(平成20年10月1日現在)※県の資料より作成

対象年齢	入 院	通 院
小1修了まで	矢吹町 (1)	矢吹町 (1)
小3修了まで	鏡石町、猪苗代町、平田村、川内村、浪江町 (5)	鏡石町、猪苗代町、湯川村、会津美里町、平田村、川内村、浪江町 (7)
小6修了まで	福島市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、北塩原村、会津坂下町、西郷村、古殿町、小野町、広野町、富岡町、大熊町、双葉町、飯館村 (18)	福島市、田村市、国見町、川俣町、北塩原村、会津坂下町、西郷村、古殿町、広野町、富岡町、大熊町、双葉町、飯館村 (13)
中3修了まで	大玉村、下郷町、只見町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、楢葉町、葛尾村 (11)	大玉村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、楢葉町、葛尾村 (7)
	35市町村	28市町村

の観点から幾つかの施策について検討しており、その中の一つに含まれています。

伊 藤 邦 光

湯沢市と白河市の

国保行政について

問 両市の国保行政を見ると保険給付費はほぼ同額にもかかわらず、保険税は湯沢市が一人当たり2万4000円、世帯当たり3万9000円安いが、その要因について伺いたい。

答 算定時点が異なるため、改めて照会し当初調定額と比較した結果、一人当たり税額では1万539円、世帯当たりでは2万6457円で、本市が高い。この要因としては湯沢市の税の徴収率が高いこと、税以外の歳入の比率が高いことが考えられます。

問 湯沢市は資産割が2分の1以下になっているが、合併前はなかったと説明されました。所得に関係なくかかる資産割は廃止すべきと思うが、伺いたい。

答 福島市、郡山市が資産割を賦課しない3方式により実施しています。これらの例を参考に調査・研究をします。

11月臨時会が11月27日に行われました。

市議会議員、市長、教育長等に係る期末手当の支給割合を3・35月から3・33月に改正する「白河市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」など、福島県人事委員会の勧告に基づき、職員の給与について改正する「白河市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」など条例案4件、予算案6件及び報告4件の計16件が提出され、質疑の後、原案のとおり可決しました。



小田川小学校6年生
(傍聴後議長室にて)

11月臨時会

*わかりやすい減免制度についての再質問に対する答弁にて、減免制度について早急に検討しますとの答弁がありました。

傍聴席

小田川小学校6年生・16人の児童と引率の先生が、授業の一環として12月定例会の本会議を傍聴しました。

12月定例会の傍聴者数は次のとおりです。

日	延べ人数
10日(水)	9人
11日(木)	11人
12日(金)	30人
18日(木)	17人



小田川小学校6年生の傍聴

報告第12号	専決処分 の報告に ついて	議案第120号	白河市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
報告第13号		議案第121号	白河市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
報告第14号		議案第122号	白河市教育長の給与及び勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
報告第16号		議案第123号	白河市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
		議案第124号	平成20年度白河市一般会計補正予算(第3号)
		議案第125号	平成20年度白河市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
		議案第126号	平成20年度白河市介護保険特別会計補正予算(第2号)
		議案第127号	平成20年度白河市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
		議案第128号	平成20年度白河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
		議案第129号	平成20年度白河市水道事業会計補正予算(第3号)